



井 都 建 第 1 1 号  
平成 1 9 年 4 月 2 6 日

国土交通省道路局長 殿

岡山県 井原市長



### 「中期的な計画の作成」について

道路特定財源の見直しに伴い、平成19年中に今後の具体的な道路整備の姿を示した中期的な計画を作成する、と聞いておりますが、当該計画の策定にあたり、地域の実情をご理解いただき、市民が必要としている道路整備を速やかに進め、国土の均衡ある発展を図ることができるように、ご配慮をお願いします。

#### 記

○今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

{別紙のとおり}

(担当者)

岡山県井原市 建設経済部  
都市建設課 主幹 大森唯資  
(TEL) 0866-62-9525  
(FAX) 0866-62-1744

## 今後の道路政策や道路の整備・管理について（意見）

### 1. 「重点化を進める上で、特に優先度の高い政策」について

（意見）

「人口の少ない地域でも、日常生活に必要な移動手段の確保と、公共サービス確保のために必要な道路整備」を重点的にすすめていただきたい。

（状況）

- ・井原市では、「安心・安全のまちづくり」を目指しているが、少子高齢化のなかで、自動車が唯一の交通手段となっており、重点的に道路整備を進めている。
- ・しかし、各集落から市の中心部や病院・公共施設へつながる幹線道路でも、通行が困難な未改良区間が非常に多く、日常生活の支障ばかりでなく、緊急時や災害時の活動に支障があり、最低限の安全・安心も確保されていない。
- ・また、高齢者等の最低限の移動手段を確保するため、循環福祉バスも運行しているが、道路が狭いため、必要なサービスを提供できない事態も発生している。

### 2. 「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」について

（意見）

効率化をはかるためには、「集中的な予算配分によるスピーディな事業の実施」と「地域の実情にあった、小規模な維持修繕などでも利用しやすい支援施策の展開」をお願いしたい。

（状況）

- ・実施予算の不足により、完成が遅れ、効果が発揮できていない事業がある。また、交通規制や振動・騒音が住民生活や経済活動の支障となり、工事が長引くことにより、大きな社会的損失が発生している。
- ・橋梁をはじめとする道路構造物の老朽化が問題となり、補助等の施策も展開されつつあるが、市町村では補助対象外となる小規模な構造物も多数管理している。
- ・市民の日常生活確保のためには、小規模な構造物も適切に修繕・更新を進めていく必要があるが、管理予算の不足から容易ではなく、結果的に破損したところを応急的に直すといった対応をせざるを得ないのが現状であり、ネットワークとしての道路管理から考えると、非効率的になっている。